環境・エネルギー

岐阜大学の環境に関する取り組み

環境対策室長・理事　　横山　正樹

内容

環境対策室

■十六銀行との連携事業

エコ活動啓発ポスターの募集

環境問題に対する意識の啓発に役立てることを目的に、教育学部附属小・中学校の児童、生徒に募集しました。平成26年度は、金賞３作品、銀賞３作品、銅賞１０作品が選ばれました。これまでに４回実施しています。

受賞した児童・生徒を囲んで記念撮影

平成26年度金賞受賞作品より

エコがつながる種まきプロジェクト

環境意識の向上と緑化運動推進を目的に、長良川競技場であさがおの種を、6月28日のＦＣ岐阜ホームゲームの観戦に訪れた来場者へ手渡しました。この活動には、本学学生９名（緑化研究会three trees,チアリーダー部Stars）がボランティアとして参加しました。

あさがおの種を配布する岐阜大学生

■ＦＣ岐阜との連携事業

環境保全推進のため連携を図り、地域社会の発展と環境マインドの醸成に寄与することを目的とし、平成27年3月に覚書を締結しました。現在、「岐阜う米(まい)プロジェクト」を実行中です。

【岐阜う米（まい）プロジェクト】
米ができる自然環境をより身近に感じ、環境保全について考えてもらうことを目的とし、田植えから収穫・販売までを岐阜大学とＦＣ岐阜が協力して行う活動

第１弾：どろんこサッカー大会＆田植え体験(5月)
第２弾：岐阜大学生とＦＣ岐阜選手との稲刈り(10月)
第３弾：長良川競技場での米販売(11月)

どろんこサッカー大会

田植え体験

■環境ユニバーシティフォーラム

平成26年度は、「昆虫と環境～昆虫から自然を楽しく学ぶ～」というテーマで、名和昆虫博物館の名和哲夫館長に講演をしていただきました。
名和氏は、環境の根底を支えている昆虫と関わることで自然の大きな流れを理解することができると述べられました。

応用生物科学部

○環境に関する教育

環境に関する内容を含む開講科目（平成27年度）
学部：171科目　　大学院修士課程：77科目

○環境に関する研究

・工業ナノ粒子の環境影響評価
・容器リサイクル樹脂特性を利用した酸変性樹脂開発に関する研究（**図１**）
・未利用バイオマスによる水環境汚染物質の吸着特性に関する研究
・微生物によるエネルギー創出・環境汚染修復
・有用微生物を用いた植物病害の生物的防除
・簡易設置型パッドアンドファンの開発
・外来カメの防除に向けた生息実態調査と繁殖生理生態に関する研究
・鳥獣害対策の円滑な推進を目的とする生物学的・社会科学的研究

○環境に関する社会連携

・立山植生モニタリング調査（富山県との共同研究）（**図２**）
・岐阜の希少生物カスミサンショウウオとニホンイシガメの保全活動（岐阜高校、淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、岐阜市役所との連携）
・希少野生動物の域外保全にむけた繁殖生理に関する研究（東山動物園や名古屋港水族館を始めとする全国の動物園水族館との連携）
・ヤギによる除草や糞尿を肥料にした緑地再生（美濃加茂市等共同研究）
・タイ王国のマングローブ植林（**図３**）
・野生動物管理学研究センター寄附研究部門（鳥獣対策研究部門） シカによる森林下層植生被害の現況調査（**図４**）
・野生動物管理学研究センターの教育研究活動サポート

○環境に対する取り組み

・校舎の屋上の一部緑化、網戸の一部設置、窓への遮光フィルム貼付
・ISO14001自己チェックシート記入による環境意識の向上
・畜舎内での細霧冷房、屋根散水による高温抑制等

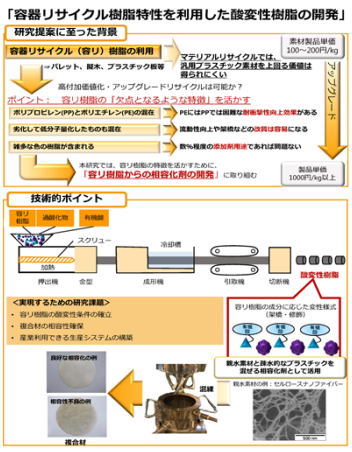

図１　酸変性樹脂の開発研究

立山の弥陀ヶ原湿原に分布する池塘の形状調査

除雪が沿線森林に及ぼす影響の調査

図２　北アルプス立山の植生調査

上下写真とも同一場所！（東タイ・クンカペン湾）
「タイ王国のマングローブ植林に協力」

図３　タイ王国のマングローブ植林

図４　シカによる森林影響評価